

2019年度 日本建築学会東海支部講演会

「神社」建築の始まりと多様性



「金輪造営図」と発掘成果による
鎌倉時代の出雲大社本殿復元案(2003)

日時：2019年7月20日(土)14時～17時

会場：日本建築学会東海支部会議室
名古屋商工会議所ビル9階

<http://tokai.aij.or.jp/inquiry.html>

講師：黒田龍二氏(神戸大学)

遺構として残る神社建築はせいぜい平安時代であるから、
いわゆる「神社建築史」の最初の記述に疑問を抱く人は
多いだろう。そこをどのように考えるかについて、
日本建築史に興味を持つ方々に実例も交えて提案する。

定員：80人 参加費：無料 申し込み不要

講演(14:05-15:35)終了後 溝口正人氏(名古屋市立大学)・
米澤貴紀氏(名城大学)によるコメントと質疑応答

主催：一般財団法人日本建築学会東海支部
問い合わせ先：日本建築学会東海支部歴史意匠委員会
tokai-sibu@aij.or.jp